

合格者の声

令和7年度に合格された受験者の方々、受験者を支える先生方にご回答いただきました。

NO.1 S.A 様（群馬県立高崎産業技術専門学校）

① 受験しようと思ったきっかけや目的は？

学校の授業でエクステリアプランナーという資格を知ったことがきっかけです。授業を受ける中で、住宅の外構や庭づくりが建物全体の印象や暮らしやすさに大きく関わっていることを学び、より専門的な知識を身につけたいと思い受験を決めました。また、将来はエクステリア業界で働きたいという気持ちもあり、自分の知識や技術を証明できる資格として挑戦しました。

② 試験に向けて、どのように、どのくらいの時間勉強しましたか？

学校の授業を中心に学習し、授業で習った内容をその日のうちに復習するよう心掛けていました。特に放課後には、テキストの見直しや過去問題を解きながら理解を深めました。ゾーニング図の描き方や設計内容に関する知識は繰り返し練習することで身につけ、分からない部分は先生に質問しながら学習を進めました。試験前は空き時間も活用しながら継続的に勉強しました。

③ 合格しての感想は？

合格したときはとても嬉しく、努力が結果につながったことに達成感を感じました。また、資格取得を通してエクステリアの仕事への興味がさらに深まり、「資格を活かせる仕事に就きたい」という思いがより強くなりました。自分の知識に少し自信を持つことができ、今後の将来に対するモチベーションにもつながりました。

④ 受験勉強を通じて学んだことは？

エクステリアの設計や施工に関する知識だけでなく、住宅全体とのバランスや使いやすさを考えた提案の大切さを学びました。また、図面作成や材料の知識など、実務につながる内容も多く、勉強を通じてエクステリアへの理解が深まりました。継続して学習することの大切さや、計画的に勉強を進める力も身についたと思います。

⑤ この資格をどのように生かしますか？

学校卒業後はエクステリア業界に就職し、現在は営業として業務に従事しています。資格取得で学んだ知識を活かし、お客様へ外構や庭づくりの提案を行う際に役立てています。専門知識を持って説明することで、お客様に安心していただける場面も多く、仕事への自信にもつながっています。今後も経験を積みながら、より良い提案ができる営業を目指していきたいです。

合格者の声

令和7年度に合格された受験者の方々、受験者を支える先生方にご回答いただきました。

NO.2 K.A 様（群馬県立高崎産業技術専門学校）

① 受験しようと思ったきっかけや目的は？

外構や造園に関する専門的な知識があることの証明や他者からの信頼向上を図れるため。

② 試験に向けて、どのように、どのくらいの時間勉強しましたか？

1ヶ月程度。学校の授業とは別に自宅では製図が出来ないので動画などの資料を閲覧しどのような施工が出来るのかを勉強し、学校での座学の復習を2～3時間程度行った。

③ 合格しての感想は？

この度、エクステリアプランナー試験に合格することができ、大きな達成感を感じています。学習を通して、設計に関する知識だけでなく、施工性や安全性、作業効率を意識した計画の重要性を深く理解することができました。図面だけでなく、実際の現場でどのように形になるかを考えながら取り組んだことで、より実務に近い視点を身につけることができました。また、課題を進める中で、計画的に作業を進める力や、最後までやり抜く力の大切さも学びました。決して簡単ではありませんでしたが、この経験は今後の仕事において大きな糧になると考えています。今後は今回身につけた知識を活かし、現場で役立つ提案や、より良い施工につながる仕事ができるよう努力していきたいです。

④ 受験勉強を通じて学んだことは？

今回の受験を通して、設計知識だけでなく、実際の施工を意識して物事を考える力の重要性を学びました。図面上で成立しているだけでなく、現場での作業性や安全性、効率まで考慮することが、より良いものづくりにつながると実感しました。また、限られた時間の中で計画的に学習を進めることの大切さや、最後までやり抜く継続力の重要性も改めて学ぶことができました。今回身につけたこれらの力は、今後の業務においても活かしていきたいと考えています。

⑤ この資格をどのように生かしますか？

今回取得したエクステリアプランナーの資格は、設計だけでなく現場での施工や作業効率の向上にも活かしていきたいと考えています。図面の意図を正確に理解し、実際の施工に落とし込むことで、無駄のない作業や安全性の確保につなげていきたいです。また、現場目線で改善点や工夫できる点を見つけ、より良い施工方法や品質向上に貢献できるよう努めていきたいと考えています。さらに、将来的には設計と施工の両方を理解した人材として、現場と計画の橋渡しができる存在を目指していきたいです。

合格者の声

令和7年度に合格された受験者の方々、受験者を支える先生方にご回答いただきました。

NO.3 T.W 様（群馬県立高崎産業技術専門学校）

① 受験しようと思ったきっかけや目的は？

もともと庭園や樹木、植物を見るのが好きで、将来的にはそういった自然や景観に関わる仕事に就きたいと思っていました。実際に庭づくりや外構の仕事に触れる中で、デザインだけでなく、植栽や施工、使いやすさまで総合的に考える知識が必要だと感じ、知識をしっかり身につけたいと思ったことが受験のきっかけです。また、自分の知識や技術を資格という形で証明したいという思いもありました。

② 試験に向けて、どのように、どのくらいの時間勉強しましたか？

勉強の中心は学校での授業でしたが、自宅でも過去問題を繰り返し解くことを意識しました。まとまった時間を取るのが難しい日も多かったので、「毎日少しでも続ける」ことを大切にして、数十分でもテキストや解説に目を通すようにしていました。特に間違えた問題は解説を読み込み、なぜ間違えたのかを確認しながら理解を深めました。少しずつでも継続して勉強したことで、知識が定着していったと思います。

③ 合格しての感想は？

合格したときは、素直にうれしかったです。勉強中は覚えることも多く、大変だと感じることもありましたが、毎日少しずつ積み重ねてきたことが結果につながったのだと思います。途中で焦ることもありましたが、「継続することが大切なんだ」と改めて実感しました。努力が形になったことで、自信にもつながりました。

④ 受験勉強を通じて学んだことは？

もともと植物や庭づくりが好きという気持ちはありましたが、「好き」という気持ちだけでは仕事として成り立たないことを実感しました。実際には、植栽の知識だけでなく、施工方法や材料、図面の読み方、安全面など幅広い知識が必要で、自分がまだ知らないことがたくさんあると感じました。同時に、学べば学ぶほど奥深く、さらに興味が湧いたのも大きな学びでした。

⑤ この資格をどのように生かしますか？

現在、庭づくりや庭の管理に関わる仕事をしているので、資格取得で学んだ知識を実務の中で生かしていきたいと思っています。お客様に提案をする際にも、これまで以上に根拠を持って説明できるようになり、より安心して任せてもらえる存在になりたいです。また、今後はデザインや植栽だけでなく、使いやすさや景観との調和も考えた提案ができるよう、さらに経験を積んでいきたいと思っています。

合格者の声

令和7年度に合格された受験者の方々、受験者を支える先生方にご回答いただきました。

NO.4 G.U 様（大分県立日田高等技術専門校 ガーデンエクステリア科）

① 受験しようと思ったきっかけや目的は？

職業訓練中に、ゾーニング図作成や外構計画の授業を受ける中で、もっと専門的な知識を身につけたいと感じたことがきっかけでした。将来エクステリアの仕事に就くときに、基礎知識があることを証明できる資格が欲しいと思い、2級エクステリアプランナー試験の受験を決めました。

② 試験に向けて、どのように、どのくらいの時間勉強しましたか？

エクステリアプランナーハンドブックを使っての授業時間がメインで、本格的な試験の対策は約3か月前から始めました。過去問題集を準備し問題を解きながら、学校の授業で学んだ内容をノートにまとめ直し、わからなかったところは先生に質問したり、友人と問題を出し合ったりして理解を深めました。ゾーニング図の問題については、制限時間を意識して繰り返し手を動かすように心がけました。

③ 合格しての感想は？

合格通知を見たときは、まずは「ほっとした」という気持ちが大きかったです。勉強を続ける中で不安になることもありましたが、コツコツ続けてきて本当によかったと感じました。また、先生方や一緒に勉強した仲間への感謝の気持ちも強くなりました。自分でも努力すれば結果につながるという自信を持つことができました。

④ 受験勉強を通じて学んだことは？

エクステリアの知識だけでなく、計画的に勉強することの大切さを学びました。毎日少しずつでも続けることで理解が深まり、苦手だと思っていた分野も克服できました。また、ゾーニング図の作成を繰り返し行う中で、現場で役立つ基本的な力や、お客様に提案する際のイメージも身についたと感じています。試験勉強を通じて、エクステリアという仕事の奥深さや楽しさを、あらためて実感することができました。

⑤ この資格をどのように生かしますか？

2級エクステリアプランナーの資格で学んだ知識を生かし、機能性だけでなくデザイン性や安全性にも配慮した提案ができる技術者を目指したいです。

合格者の声

令和7年度に合格された受験者の方々、受験者を支える先生方にご回答いただきました。

NO.5 S.H 様（大分県立日田高等技術専門学校 ガーデンエクステリア科 職業訓練指導員）

① 学生が2級エクステリアプランナー試験に取り組む理由、目的

専門学校が2級エクステリアプランナー試験に取り組む目的は、訓練生が外構の専門家として信頼される力を身につけることです。図面、法規、植栽、材料などを体系的に学び、資格という形で知識を証明することで、自信を持って提案できるようになります。さらに、就職や転職の場面で「学んだ内容」と「資格」をセットで示すことで、即戦力に近い人材として評価されやすくなります。試験勉強を通じて、家族の暮らし方に合った外構を考える力を養うことも大きなねらいです。

② 生徒を合格へと導く秘訣

訓練生を合格へと導く秘訣は、まず試験範囲の全体像を示し、「どこを優先して覚えると合格に近づくか」という学習の地図を提示することだと思います。出題頻度の高い分野やよくあるミスを把握し、そこから逆算して授業や課題を組み立て、さらに、図面や写真、施工例を用いて現場のイメージと結びつけて説明することで理解が深まります。また、本番と同条件の模擬試験を行い、時間配分と緊張への慣れを促すことで、試験当日も落ち着いて実力を発揮できる土台が整うと思います。

③ 受験を通して生徒へ伝えたいこと

受験を通じて生徒に伝えたいのは、合否という結果も大事であるが、それ以上にそこに至るまでの向き合い方です。忙しい中で時間をやりくりする工夫や、仲間と支え合いながら学ぶ姿勢といったプロセスは、将来どのような職場でも生きる力となります。また、知識を持つ者としての責任感を自覚し、困っている人の役に立とうとする意識や、教え合うことで互いの理解を深め合う経験を通じて、専門家としての土台を育むことが出来ると思います。

④ 2級エクステリアプランナー試験について自由なご意見

学科と実地の両方で、ハンドブックをベースに幅広く問われるため、初心者には負担感もありますが、その分、外構全体を体系的に学べる良い機会になっています。

特に実地試験は図面作成やプランニング力が求められ、現場に出たときに役立つ「考え方」と「表現力」の訓練になっていると思います。

|| 合格者の声

令和7年度に合格された受験者の方々、受験者を支える先生方にご回答いただきました。

NO.6 学生 A 様（南安曇野農業高校）

① 受験しようと思ったきっかけや目的は？

造園について授業を学んでいたから。

② 試験に向けて、どのように、どのくらいの時間勉強しましたか？

配られた過去問テキストや学校にある過去問を、週4時間の授業でやりました。

③ 合格しての感想は？

自分の将来について視野が広がった。

④ 受験勉強を通じて学んだことは？

問題へ地道に取り組むことの大切さ。

⑤ この資格をどのように生かしますか？

これから就職を決めるにあたって一つの選択肢として生かしていきたい。

|| 合格者の声

令和7年度に合格された受験者の方々、受験者を支える先生方にご回答いただきました。

NO.7 学生 B 様 (南安曇野農業高校)

① 受験しようと思ったきっかけや目的は？

造園を学んでいる中で、エクステリアに興味を持ったからです。

② 試験に向けて、どのように、どのくらいの時間勉強しましたか？

テキストや先生からもらった過去問を週4時間程度やりました。

③ 合格しての感想は？

努力が実り、とても嬉しかったです。

④ 受験勉強を通じて学んだことは？

問題を解いて、分かりきったと思ったものも解説をみて復習することが大切だと学びました。

⑤ この資格をどのように生かしますか？

将来デザイン系に進みたいので、得た知識を活用したいです。

|| 合格者の声

令和7年度に合格された受験者の方々、受験者を支える先生方にご回答いただきました。

NO.8 教諭 様 （南安曇野農業高校）

① 学生が2級エクステリアプランナー試験に取り組む理由、目的

エクステリアプランナー試験に取り組むと造園のゾーニングについて学べる事と、資格取得という目標があると学べるから。

② 受験にあたって生徒に伝えたいこと

学科も実技も過去問題集を繰り返し取り組むことが、大切かと思えます。実技は過去問題集を例に何回も取り組み、覚えることかと思えます。

③ 2級エクステリアプランナー試験について自由なご意見

不合格者について、実技が不合格だったのか、学科が不合格だったのかだけでもわかるとありがたいです。